

令和6年度 人間総合科学研究群 カウンセリング学位プログラム  
入学試験問題

解答上の注意

1. この問題冊子は、表紙も含めて9頁、問題は3問あります。
2. 問題1、問題2、問題3ともに、所定の答案用紙を使用して下さい。
3. 更紙（何も印刷されていない紙）は下書き用です。
4. それぞれの答案用紙の所定の欄には、必ず、受験番号を記入して下さい。
5. ローマ字・算用数字は1マスに2文字記入して下さい。その場合も、解答字数は1マスで1文字と数えます。
6. 解答し終わった答案用紙は裏返しにふせて、上から順に、問題1-1、問題1-2、問題1-3、問題1-4、問題2、問題3となるように机の上に置いて下さい。その他の用紙は、別にまとめて置いて下さい。
7. **配布された全ての用紙(問題冊子、答案用紙6枚、下書きの更紙1枚)は、一切、室外に持ち出すことはできません。**

## 問題 1

以下の7つの用語について、それぞれ100字～200字の範囲で説明しなさい。

- ① 心の理論 (theory of mind)
- ② 独立変数と従属変数 (independent variable and dependent variable)
- ③ 認知的不協和 (cognitive dissonance)
- ④ 観察学習 (observational learning)
- ⑤ 投影法 (projective technique)
- ⑥ カウンセラーに対するスーパービジョン (supervision for counselor)
- ⑦ ワーク・ファミリー・コンフリクト (work-family conflict)

## 問題2

下記の小論を読んで、以下の問いに答えなさい。

1. 小論の内容について、200字以内で要約しなさい。
2. 小論の中で紹介されているヒトの認知が影響を及ぼしたと考えられる社会的事象または個人的経験を一つ取り上げて説明し、あなたの見解を400字以内で述べなさい。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。

<出典 下條伸輔（2017）ブラックボックス化する現代—変容する潜在認知 日本評論社 から一部改変>

### 問題3

以下の図表は、東京都の委託を受け、首都大学東京 子ども・若者貧困研究センターが実施した「東京都子供の生活実態調査報告書【小中高校生等調査】」（平成29年3月）の結果の一部である。これらの図表を参照しながら、以下の問いに答えなさい。

1. これらの図表から読み取れる、生活困難が中学生の子供に及ぼしうる影響について、300字以内で論じなさい。
2. また、1.で指摘した点について、より詳細に分析するためには、他にどのような調査を行う必要があると考えるか。あなたが必要だと考える調査の方法や対象、項目などについて、300字以内で記述しなさい。

なお、この調査での生活困難は、表1に示す①～③の3つの要素に基づいて分類された。

表1 生活困難について

① 低所得	③ 子供の体験や所有物の欠如
等価世帯所得が厚生労働省「平成27年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯 <低所得基準> 世帯所得の中央値427万円÷ $\sqrt{\text{平均世帯人数 (2.49人)} \times 50\%}$ =135.3万円	子供の体験や所有物に関する15項目のうち、 <u>経済的な理由</u> で、欠如している項目が3つ以上該当  1 海水浴に行く 2 博物館・科学館・美術館などに行く 3 キャンプやバーベキューに行く 4 スポーツ観戦や観劇に行く 5 遊園地やテーマパークに行く 6 毎月おこづかいを渡す 7 毎年新しい洋服・靴を買う 8 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる 9 学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう） 10 お誕生日のお祝いをする 11 1年に1回くらい家族旅行に行く 12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 13 子供の年齢に合った本 14 子供用のスポーツ用品・おもちゃ 15 子供が自宅で宿題（勉強）することができる場所
② 家計の逼迫	
経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣服を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上が該当  1 電話料金 2 電気料金 3 ガス料金 4 水道料金 5 家賃 6 家族が必要とする食料が買えなかった 7 家族が必要とする衣類が買えなかった	

生活困難層（困窮層・周辺層）、一般層

生活困難層	困窮層+周辺層
	困窮層
	周辺層
一般層	

2つ以上の要素に該当

いずれか1つの要素に該当

いずれの要素にも該当しない

【保護者の回答（図1・図2）】 N = 2,901

図1 自分の健康状態

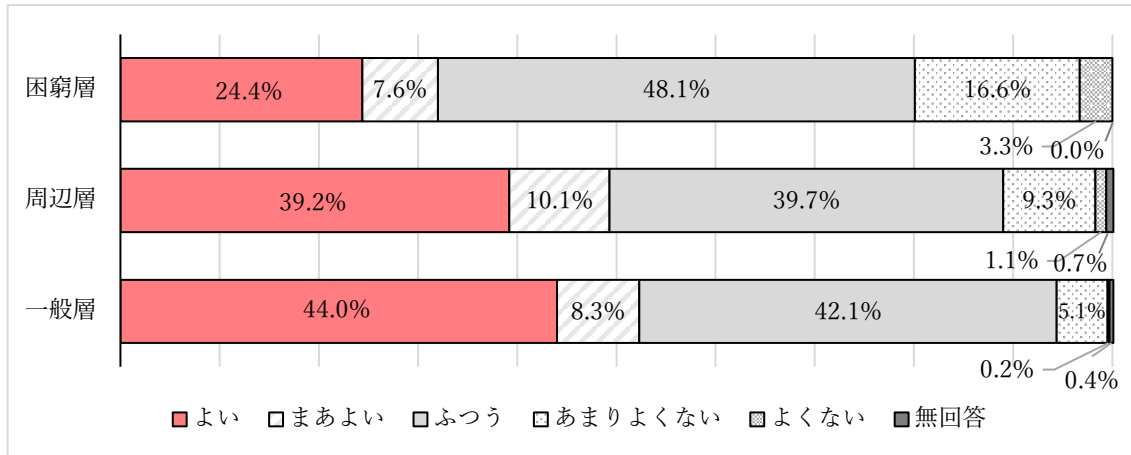
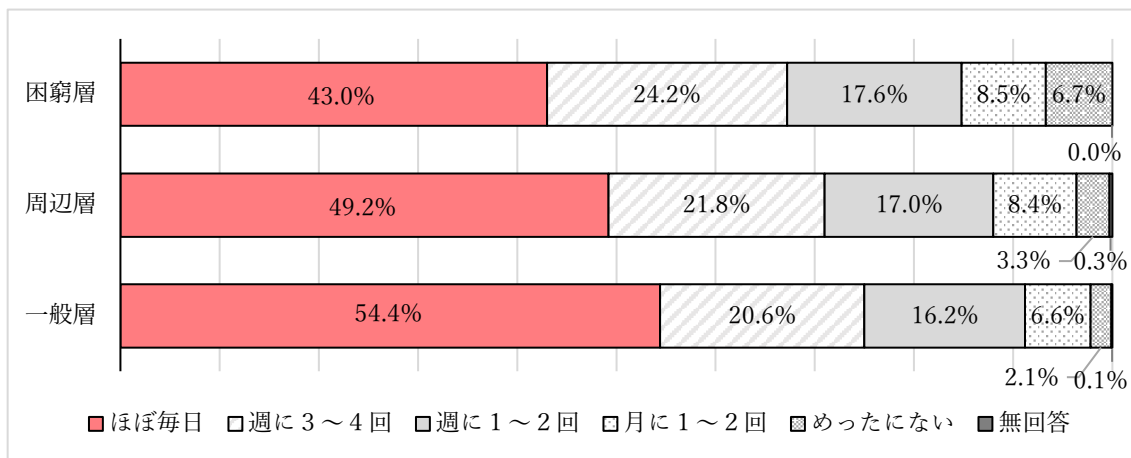


図2 中学生の子供と学校生活の話をする



【中学生の子供の回答（図3～図5）】 N = 2,917

図3 自分の健康状態

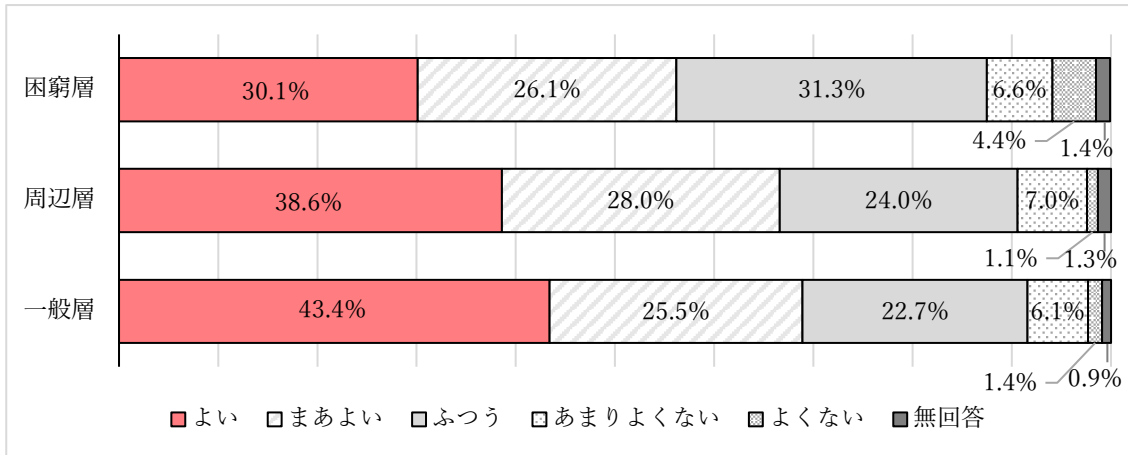


図4 クラブ活動への参加状況

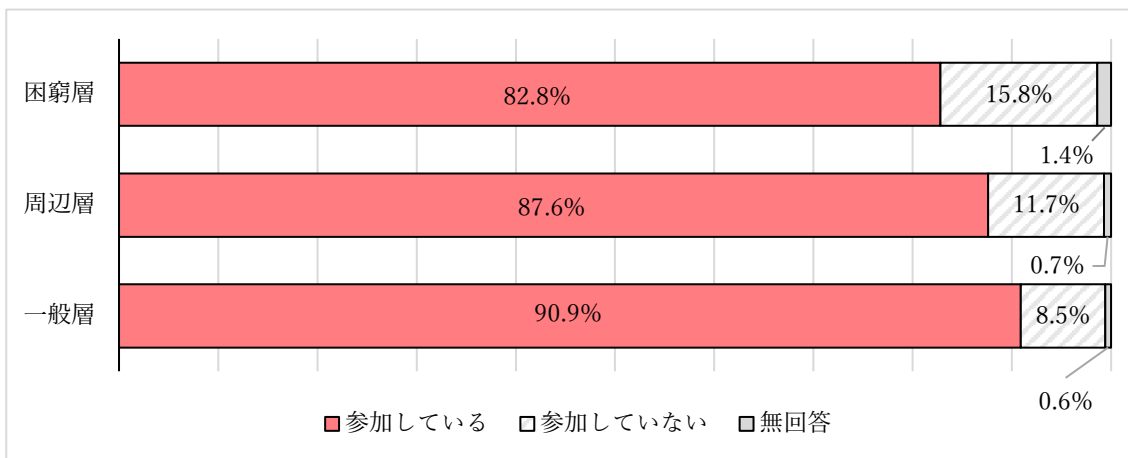


図5 平日放課後に夜までいることができる場所の利用意向

